



忠海学園 平成30年度 研究構想図

めざす児童生徒像

夢や希望の実現に向けて、主体的に学び、行動する児童生徒

道徳教育重点目標

自信を持ち、将来の夢や目標に向かって主体的に努力する児童生徒の育成

研究主題

アイデンティティを育て、自己の可能性を伸ばす道徳教育の創造
～対話から、道徳的判断力の育成を目指した授業づくりを通して～

アイデンティティを育てる

自分のルーツである地域(忠海)の中で育つ
「自分のよさ」や「なりたい自分」を見つけようとする

道徳的判断力の育成

どう生きるべきか

より良い生き方とは？

自己の可能性を伸ばす

他の生き方から学ぶことに価値を見出し、
「自分の世界」や「自分のよさ」を広げようとする

地域人材の活用
ゲストティーチャー

地域とのつながり

参加型授業の実施
家庭との連携

見取りを活用した
評価

小中九年間の連続性・系統性
小学校道徳科
中学校道徳の時間
価値理解を深める対話の場の設定

授業・校内研修・協力の充実
TT

仲間とのつながり

議論を活性化させる
対話

ユニットと関連付けられた
小中合同活動

施設一体型小中一貫校の強み

「つながり」

平成28年度

授業づくり

- 道徳的判断力を育成する授業とは？
- 対話の効果的な活用方法は？
- TT ならではの展開とは？



発問



板書



資料提示



ICT



対話ツール



対話サイズ



TT打合せ



小中合同研修

平成29年度

ユニット(単元)づくり

- 道徳的価値の自覚をより深めるユニット(単元)とは？
- 大きくりなまとまりを意識したユニットノートを活用すると？
- ユニット(単元)と関連付けた異年齢集団での対話とは？

平成29年度の「ユニット」

忠海学園 校訓
「広く やさしく 元気よく」

ユニット	テーマ
1学期「広く」	目標に挑戦する心
2学期「やさしく」	いじめを許さない心
3学期「元気よく」	命を大切にする心

「ユニットノート」



- * 毎時間のふり返し
- * ユニットのふり返し
- * 意識調査 (ユニット前後)
- * 保護者からのコメント欄



ユニット「目標に挑戦する心」と関連させて
(学園「夢」朝会, 学園「挑戦」朝会)



ユニット「いじめを許さない心」と関連させて (学園対話集会)

平成30年度

ユニットの充実

- 教科書からユニットをつくるには？
- 課題設定はどうしたらいいのか？
- ユニットから評価を行うには？

- ユニット:「道徳科」の単元化
- ユニットテーマに迫るために、複数教材を複数時間で取り扱う。
- 異なる内容項目からテーマに迫り、道徳的価値の自覚をより深める。

今年度の「ユニット」

忠海学園 校訓
「広く やさしく 元気よく」

ユニット	テーマ
1学期「広く」	チャレンジ
2学期「やさしく」	仲よく
3学期「元気よく」	命

「ユニット」の例

ユニットテーマ 「チャレンジ」
(第6学年・全4時間)

1時間目	2時間目	3時間目	4時間目
A 希望と勇氣、努力と強い意志 主題「夢に向かって」 教材「夢に向かって～三浦雄一郎～」	C 勤勞、公共の精神 主題「働く人の思い」 教材「世界がおどろく七分間清掃」	B 友情、信頼 主題「信頼し合える友達」 教材「陽子、ドンマイ！」	A 真理の探究 主題「開発に願いをこめて」 教材「技術で障害をなくしたい～遠藤 謙」

ユニットノート

ユニットノートの前後記述 (第5学年)
ユニットテーマ 「チャレンジ」

夢や目標を叶えるために大切なことは何だと感じますか。

努力することです。理由は、努力をしないと何も始まらないし、頑張らないと、楽しいこともうまれないからです。

このノートを読み返して、自分の夢や目標、生き方について考えたことを書こう。

簡単にゆめをあきらめないことが大切だと思います。そのために単純なことでも一つ一つ真剣に取り組むことや、自分の長所と短所について考えたり、人の意見を受け入れることをがんばりたいです。そうすれば、これからしんどいことや悲しいこと、苦しいことがあってものりこえられると思うからです。

道徳的判断力を高めるための対話



地域人材の活用 ～ゲストティチャーから学ぶ

第3学年
「ぼくらは小さなはかせ」
(全日本マスターズ陸上選手)

第4学年
「とべ！ペットボトルロケット」
(郷土史研究家)

第5学年
「ポペイロのヤマさん」
(読書活動推進員)

保護者とともに～ユニットノート、応援メッセージ～

【おうちの人からのおうえんメッセージ】

べんきょも あそびも
何でも しっしょけんめいがんばってね！
できなくても じょうずじゃなくても
がんばっている事がたをめでうれしくおもうよ！

ユニットノートへのコメント



保護者からの運動会応援メッセージ（★）

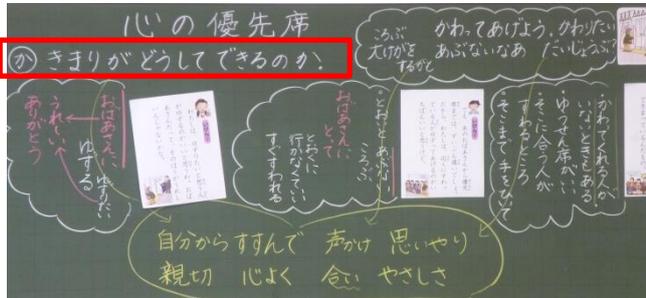
道徳的価値に迫るための課題設定

第6学年 学習指導案

第3学年 板書

8 学習指導過程

段階	学習活動	主な発問と予想される児童の心の動き (○基本発問 ◎中心発問 ●補助発問)		○指導上の留意点 ☆評価の観点
		T1	T2	
導入	1 研究を続けて、新たなものをつくり出した人について話し合う。	○研究を続けて新たなものをつくり出した人を知っていますか。 ・エジソン		○生活をくふうしようという探究から生まれた技術を紹介し、児童の価値観を明確にすることで問題意識をもって授業に取り組ませる。
		課題 新しいものを研究する「よさ」って何だろう。		
	2 「技術で『障がい』をなくしたい」を読ん			



単元ごとの学びを肯定的に評価

2. 小んが来たことをとんぞんや、ていって
いろいろなことになんせんしてしはい
てもあきらめずにしていきたいです。

どの時も、おそろい。おそろい。
と、おきてる。

児童に寄り添ったコメント

授業後の自己評価

☆よくあてはまるものに1つだけ○をつけましょう。

<input type="radio"/>	心に残る話だった!
<input type="radio"/>	一生懸命考えた!
<input type="radio"/>	人の意見を聞いて「へー」「なるほど」と思った!
<input type="radio"/>	「自分だったらどうするか」「似たような経験があるな」と思った!

人を助けたいと、いろんな人のいいところをい
いばい見つけてみれば明るく元気になるよ
うにすること。人がほついたりしてたら協力
したり声をかけたりすること。人の気持ちを考えま
すついたり人のいやなことを言ったりはあは
あ、口を言わないで人がよる、言葉
を返した方がよくなるようにやたい

授業後の自己評価

☆よくあてはまるものに1つだけ○をつけましょう。

<input type="radio"/>	心に残る話だった!
<input type="radio"/>	一生懸命考えた!
<input type="radio"/>	人の意見を聞いて「へー」「なるほど」と思った!
<input type="radio"/>	「自分だったらどうするか」「似たような経験があるな」と思った!

大きくくりなまとまりとして評価

このノートを読みかえて、べんぎょうのふりかえりをかきましょう。

わたしはゆめをかなえるためにべんぎょうや家での
おてなにかいろいろなことになんせんやとなくした
らいいなと思いました。
だからわたしは、このノートに書いたことをかえはろうと
思いました。今きょうはよも早く食べるようにがんば
ていてできてきています。

ユニットノート記述(低学年)

このノートを読みかえて、自分の目標、ふりかえりをかきましょう。

ぼくは、夢や目標をかなえるために、毎日
の努力や失敗してくじけずにあきら
めなれないこととできないと思っても何
ごともチャレンジすればいいと思いま
す。そうしたらいいところも増えると思
います。失敗しても悔しいと思っても
ねばり強くその思いをバネにしたら
いいと思います。それをかこうにしたいです。

ユニットノート記述(高学年)

目標を持って物事に取り組むことや、その目標に向かって努力することの大切さを友達との意見の交流から感じることができました。生活の中の自分の目標についても努力を続けていこうとする意欲も持っています。

夢や目標をかなえるためには、失敗しても悔しいと思っても、その思いをバネにして粘り強く取り組むことが大切であるということに気づき、今後の生活に生かそうと考えることができました。

保護者、地域へ発信

道徳通信「生きる」を語る

忠海学園 道徳通信 4月号 平成30年4月21日

「生きる」を語る

忠海学園では、小中が一体となって教育活動に取り組んでいます。道徳教育もその一つです。この道徳通信「生きる」を語るには、本校の道徳教育の取組や、子どもたちの心の成長の様子を紹介するために発行しています。中期、どうぞよろしくお読みください。今回は小学校で始まった、道徳科について紹介します！

なぜ教科化？

いじめ 自殺が
おこらない
社会
実現する

「特別の教科 道徳へ」
主体的に
生きる

自分自身
の人間
としての生き
方を考えら
れるように

主体的な判断
をして行動で
きるように

自立した人間と
して他の人と共
によりよく生き
ていけるように

教科になると

①教科書の使用

- これまで用いていた「私たちの道徳」等の資料に代わって、教科書が使われるようになります。

②評価

- 数量での評価ではなく、文章の記述によって評価します。(小学校の外語活動や、総合的な学習の時間の評価と同様です。)
- 他の人と比べるのではなく、どのように道徳性が成長したか、記録して伸ばす「個人記録」を行います。
- 道徳科の評価が、入試等に活用されることはありません。

③内容の充実

- 多面的・多角的な見方ができるように、また、自分とのかかわりの中で考えを深めていけるように授業をさらに工夫していきます。

自分も誇りも幸せになれる
考え方がないのかな？

教科化に向けて保護者へ説明

毎月1回発行し、学園の様子や感想などを伝えています。

忠海学園 道徳通信 5月号 平成30年5月18日

「生きる」を語る

5～6月にかけて、忠海学園では「チャレンジ!」「挑戦して生きる」をテーマに道徳の授業を行っています。それに合わせて、5月9日(水)に、学園対話集会「チャレンジ!」を行いました。集会では、このツアーと同じ観戦リ新に分かれて、自分の目標を宣言し合う「チャレンジ発表会」を行いました。その後、夢や目標を実現していくために大切なことは何か、紙で話し合いました。今年度、初めて市内ウォークラリーを行ったこのツアーや、この学園対話集会のように、これからの、いろいろなことに挑戦していきける忠海学園でありたいと教職員一同願っています!今後とも、ご理解とご協力をお願いします。

学園対話集会「チャレンジ!」

「夢だけでいいのかな?」

「(例)人は人のチャレンジや目標を聞いて、目標が達成されたら、本当に誇りに思うことができます。(中1女子)」

「切の取り締り」

「応援メッセージ」協力をお願いします

対話集会で発表した、児童生徒の目標を1階ホールに掲示しています。合わせて、「小学生・中学生への応援メッセージ」を保護者の方にもご協力いただき、掲示したいと考えています。是非左の〇にメッセージをご記入いただき、切り取りの上、5月22日(金)まで担任や学年主任へご提出ください。よろしくお願います。

「応援メッセージ」募集

毎月19日は「Do!19の日」

ユニットの取組「チャレンジ」体験を語る

Do!19の日 5/21(月)

こぼなし
担任による小噺(説話)
「わたしのチャレンジ」

○「わたしのチャレンジ」の札を手に持って、児童生徒に自分の体験を語る。

○話す内容

(例)小中学生の頃の夢
小中学生の頃のチャレンジ
人生最大のチャレンジ
今年始めた新しいこと
これからやってみたいこと 等

副担任等で写真を撮って
NAS(中) → 共通 → 11写真 → 平成30年度
→ 5月 → 0521「Do!19の日」
にデータを入れてください。よろしくお願います。

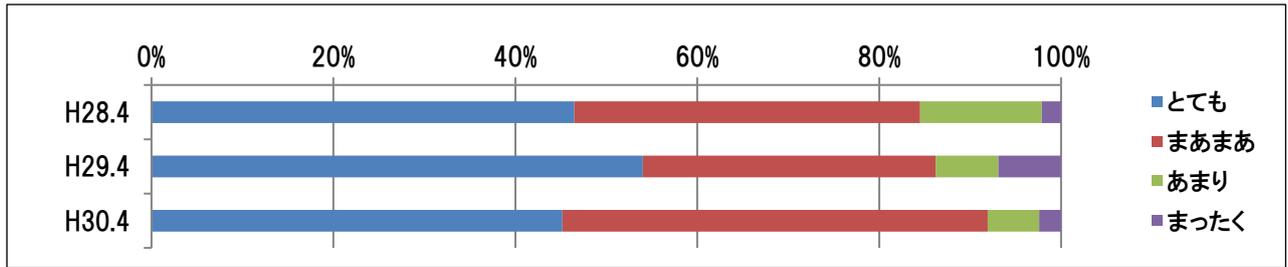
おながいしま



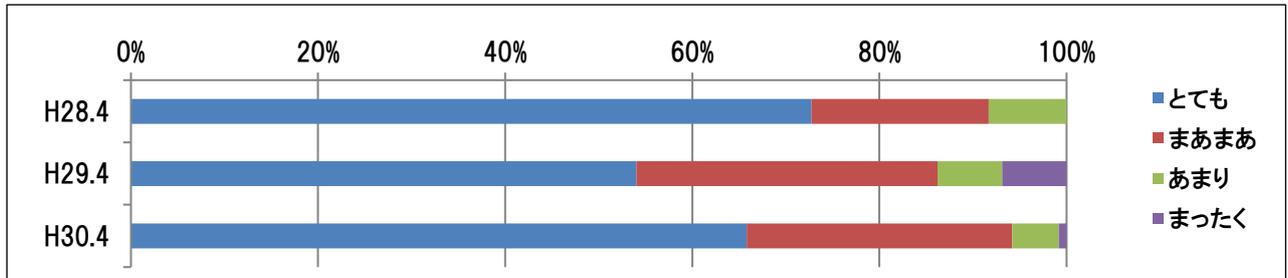
先生も私たちと
いっしょだ!

検証

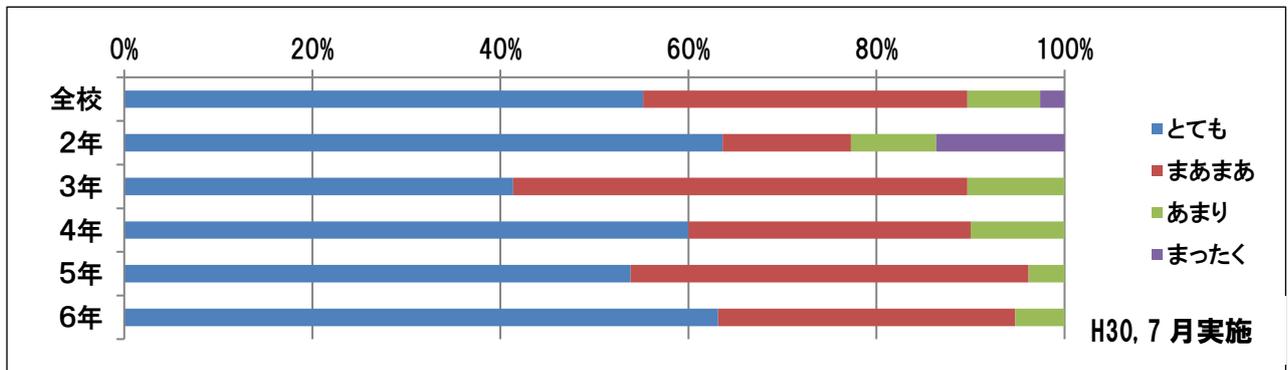
道徳の時間（道徳科の授業）は好きだ



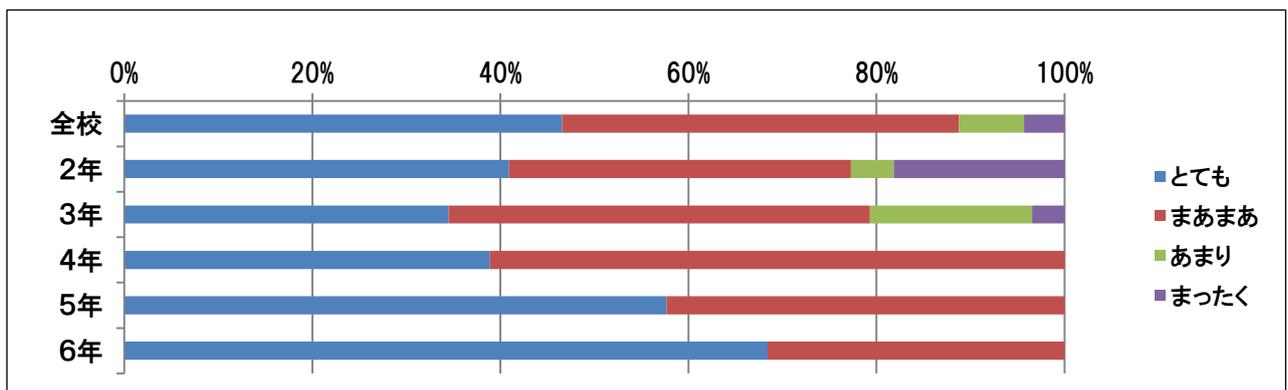
道徳の時間（道徳科の授業）はためになると思う



いくつかのお話をまとめて勉強することは「チャレンジ」（ユニットテーマ）について考えやすかった



「チャレンジ」（ユニットテーマ）について勉強したことを自分の生活に活かせると思う



成果と課題、今後に向けて

○成果

授業作りの工夫、ゲストティーチャーの招聘など、道徳の時間（道徳科）を充実させることや保護者の協力を得ることにより、「道徳が好きだ。」「道徳の時間はためになる。」と考える児童が増加した。また、ユニットを組んで授業を行うことにより、高学年になるにしたがって、なりたい自分、これから生きていくうえでの身構えや方向性、生き方などについてしっかり考えることができ、道徳的判断力の育成に効果があった。

●課題と今後に向けて

自分のよさを見つけ上げていくことへのアプローチが不十分であった。今後も必要に応じてユニットのテーマや教材を変えたり課題設定を工夫したりしながら、引き続きユニット学習を行っていく。今後も保護者への理解と協力を図っていく。